

1dayボランティア プログラムシート

受入先について

受入先名称	スープの会 (ふりがな) すーぶのかい スープの会
-------	--

プログラム概要

プログラム名	スープで温める「ホームレス」(路上生活)状態の方々との繋がりに～私たちが気づく等身大の「路上の出会い」～
活動の目標	<p>「ホームレス」って言葉が気になるけど、一人じゃ声をかけにくいな、どんな人かな? ...、なんて迷っているあなた! 人が人に声を掛けあうことに難しいことなどありません。「こんばんは」と一緒に楽しく声をかけてみませんか?</p> <p>「路上」に至るまでの道のりは、本人だけの問題ではなく様々な社会要因も複雑に絡みます。一人ひとりに暮らしの歴史があるのです。「路上訪問」と称して、参加者・市民が、一人ひとりを「訪問」します。路上に暮らす方との、あるいは参加者の方どうしとの出会いを通して、まずは自然に言葉を交わす「場」を育みます。「路上」の先にある「地域」のありようについて、みんなで一緒に考えてみます。</p>

[プログラム内容]
 新宿駅周辺の「路上訪問」となります。
 ※学生さんにとっては遅い時間までの取り組みとなりますので、途中で帰ることも問題ありません。その場合、その場でベテランのボランティアさんが訪問した感想や質問などのフォローをさせて頂いて、駅までお送りします。

JR新宿駅西口の地下ロータリーにある壁画風モニュメント「新宿の目」に集合。19時から全員で楽しく自己紹介・アピールタイムをしてから「路上訪問」をはじめます。参加者には少人数のグループに別れ、それぞれのグループで路上生活者とのコミュニケーションを体験していただきます。最後に、21時半から22時まで、本日の振り返り「終わりのミーティング」で感想などを語り合い、解散という流れになります。

[雨天時のプログラム内容]
 上記と同じです。

備考	〔当日の持ち物、服装〕	歩きやすい服装・靴でいらして下さい。普段の私服で大丈夫です。雨天時は、傘等をお持ち下さい。	
	〔昼食について〕		
	〔参加の注意点〕	路上の方々も、楽しく人と出会うことで人との繋がりが「地域」での生活を考えるきっかけになります。難しく考えないで気軽に楽しく参加して下さい。	
雨天時の 取り扱い	〔いずれか1つを選択〕	〔⇒3. の場合の代替日〕	〔⇒3. の場合の判断、連絡方法〕
	①. 雨天決行<雨天の影響なしのプログラム> ②. 雨天決行<一部プログラム内容を変更して実施> ③. あらかじめ指定した代替日に実施	月 日 ()	
実施日の写真撮影について	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可	(備考)撮影に関する注意事項がありましたらご記入ください 他のボランティア参加者の写真も取りたい場合は、「路上訪問」のはじまりの際のミーティングで趣旨を説明して、写りたくない方にはカメラを向けないで下さい。路上に暮らす当事者の方には、ご本人の了解を必ずってからカメラを向けて下さい。	

実施日程・募集人数

回数	実施日	曜日	募集人数	受入人数:	備考
第1回	11月16日	土曜日	募集人数	受入人数:	5人(高専生の受け入れ) 可
第2回	11月23日	土曜日	募集人数	受入人数:	5人(高専生の受け入れ) 可
第3回	11月30日	土曜日	募集人数	受入人数:	5人(高専生の受け入れ) 可
第4回	12月7日	土曜日	募集人数	受入人数:	5人(高専生の受け入れ) 可

実施時間・場所・集合					
第1回～第4回 共通	時間	[開始]	18時45分	[終了(予定)]	22時00分
	場所	[名称/施設名など]		[所在地/住所]	
		JR新宿駅周辺		JR新宿駅周辺の「路上訪問」	
	最寄駅	JR線、京王線、小田急線の「新宿駅」			
	集合	[場所]	JR新宿駅西口の地下ロータリーにある壁画風モニュメント「新宿の目」	[時間]	18時45分
	タイムスケジュール				
	時間		実施内容詳細		
	18時	45分	1dayボランティア参加者集合、スープの会の取り組みについて、ガイダンス。		
	19時	00分	～	自己紹介など「はじまりのミーティング」と、数人ごとの訪問グループ分け	
	19時	30分	～	数人ごとの各訪問コースに別れて「路上訪問」スタート	
21時	30分	～	各訪問コース、「路上訪問」終了。再集合して「終わりのミーティング」。参加者みんなで感想などをシェア&フォロー		
22時	00分		終了(早めに帰りたい方は、それぞれの希望で終了時間を調整します)。		

受入担当者からのメッセージ

1日だけでも大丈夫！ 学生さんのこれからの日常の暮らしのなかで、ふと、何かを思い出してもらえるような、社会をみる際の新しい視点をもって帰ってもらえると嬉しいです。できるなら、路上に暮らす方々やボランティアさんどうしの「楽しい出会い」となるよう願っています。